

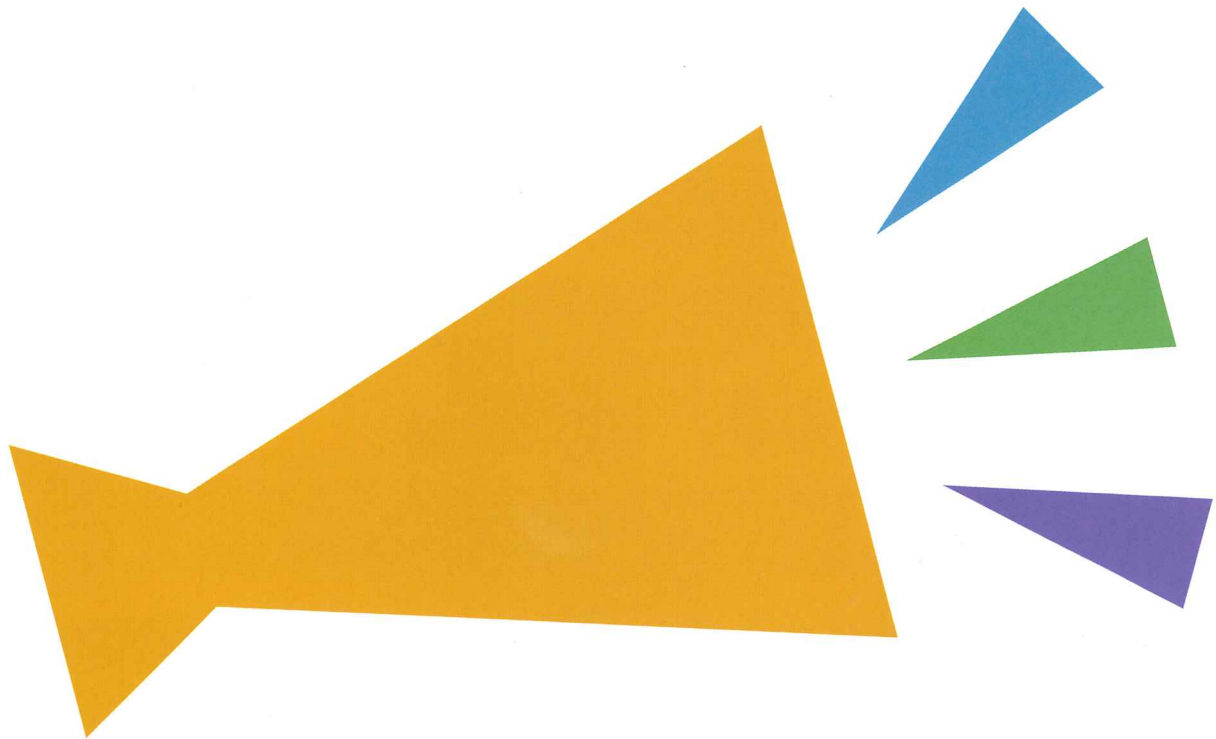


公益財団法人

北海道中小企業総合支援センター

助成金

北海道 中小企業新応援 ファンド事業



新たな事業化への取組を支援する助成金です！

- 1 創業促進支援事業(上限100万円)**
新規創業時の事業展開に！
- 2 地域資源活用型事業化実現事業(上限150万円)**
地域資源を活用した新商品開発・販路開拓に！
- 3 製品開発チャレンジ支援事業(上限50万円)**
製品開発に向けた事前検証に！

北海道中小企業新応援ファンド事業

は、製品開発・販路開拓、新規創業などの取組を支援する助成金です。

1 創業促進支援事業

新規創業時の事業展開に

対象者	助成内容	対象経費
<ul style="list-style-type: none"> ① 道内で1年以内に新規に事業を開始する予定の方 または ② 前年度以降に創業した道内の中小企業者等※1 	上限 100万円 助成率 1/2 以内	外注費、機械装置等購入費、デザイン開発費、事務所等借料、事務所等改装費、広告宣伝費、利用料等

創業促進支援事業 活用事例～屋根の雪庇を安全に除去する装置の開発を支援～

創業 雪対策製品の研究開発及び販売

企業名：株式会社アルパインクリエイト(札幌市中央区) 業種：製造業 創業：2024年11月




創業のきっかけや課題	支援内容	事業利用による効果
【きっかけ】 <ul style="list-style-type: none"> 電力会社勤務時に、技術者として電柱への冠雪対策に取り組んできた 積雪地域での屋根の雪下ろし作業で多くの死傷者が出ている現状を危惧し、屋根に上らず安全に作業できる雪庇落とし器具の開発に着手 【課題】 <ul style="list-style-type: none"> 試作品を用いた実証試験の実施 製品化及び販売に向けた周知・PR 	<ul style="list-style-type: none"> 企業・商品ロゴデザイン費用やHP作成費用、チラシ作成費用等を支援 試作品に使用するロープや手持ち棒の強度測定について、道総研を紹介 	<ul style="list-style-type: none"> 豪雪地域など22カ所で行った実証試験を行い、雪庇切断能力について所期の成果を確認し、「ナイアガラカット」として商品化 HPやYouTubeチャンネルで雪庇除去の様子を動画で配信した結果、TVや新聞にて複数回紹介された ヤフーショッピングの「その他除雪部門」において販売数1位を記録 大手損害保険会社から、雪害防止に有効な商品として協業の提案を受けている
対象経費 デザイン開発費、印刷製本費、広告宣伝費	支援状況 当センター職員がフォローアップを行い、販路開拓に活用できる補助制度を紹介	

創業促進支援事業 活用事例～パーソナルジムの開業を支援～

創業 「通いやすい、分かりやすい、効果を感じる」の三拍子揃ったパーソナルジムの開業

企業名：Personalgym More(札幌市中央区) 業種：娯楽業 創業：2023年4月




創業のきっかけや課題	支援内容	事業利用による効果
【きっかけ】 <ul style="list-style-type: none"> 前職(消防士)時代に解剖生理学の知識を学び、人体の仕組みに精通 その後、パーソナルジムに勤務し、年間2000本の実践指導をこなしつつ、プロアスリートやスポーツ選手のトレーニング/コンディショニング指導を担当 経験と実績を活かし、パーソナルジムの独立開業に着手 【課題】 <ul style="list-style-type: none"> 高アクセス・人口流動率が多い拠点の確保 従業員のスキルアップとマネジメント 	<ul style="list-style-type: none"> 事務所等借料、広告宣伝費、事務所等改装費を支援 	<ul style="list-style-type: none"> 大通、平岸、澄川の駅近くにパーソナルジム3店舗をオープン 複数人利用での料金シェアプランなど柔軟な料金プランを設定 『結果の再現性』や『実績の見える化』を実感できるトレーニングプログラムを実践し、その効果を顧客の声としてHPやSNSで積極的に発信 口コミで評判が広がり、店舗の新規オープン後すぐに予約満了となるほどの盛況ぶり 既存店の売上状況をキープしながら、地下鉄沿線に4店舗目のオープンを計画中
対象経費 事務所等借料、広告宣伝費、事務所等改装費	支援状況 当センター職員がフォローアップを行い、道の専門家派遣事業を活用し、経営戦略・販売戦略を指導	

創業 北海道の郷土料理・成吉思汗の新スタイルを釧路にも広めたい!

企業名：成吉思汗ダイニングゼロイチ(釧路市) 業種：飲食業 創業：2024年7月



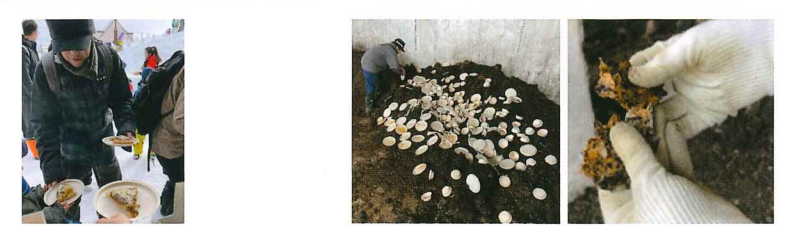
創業のきっかけや課題	支援内容	事業利用による効果
【きっかけ】 <ul style="list-style-type: none"> 精肉店の実家を持ち、長年飲食店を経営したいという思いから、ジンギスカン専門店を創業 ズッキーニやヤングコーン、マッシュルーム、トマト、春菊など彩鮮やかな道産野菜を使ったジンギスカンを提供 【課題】 <ul style="list-style-type: none"> 幅広い年齢層に向けた店の知名度アップ 解りやすいメニュー構成、多様な決済方法の導入等 	<ul style="list-style-type: none"> 事務所賃料や広報費用を支援 補助金申請や事業計画のブラッシュアップに関するアドバイス GoogleビジネスプロフィールやInstagramを活用し、店の特徴を伝える効果的な投稿手法等に関するアドバイス 現在も、持ち帰りやふるさと納税返礼品など、自宅でも楽しんでもらうための商品開発等について地域の支援機関等と協力して連携支援している。 	<ul style="list-style-type: none"> 独自ルートで仕入れる生ラムの品質だけでなく、様々な野菜やお酒などを合わせ、ジンギスカンの魅力を最大化する新しいスタイルの提案により、地元客、観光客の両方から人気のお店を開業。 広告やSNSによる情報発信の効果もあり、口コミを見た来店客が増え、予約を断らざるを得ないほどの盛況ぶりとなっている。
対象経費 事務所等借料、広告宣伝費	支援状況 当センター職員と関係機関職員が連携して創業後フォローや新商品開発について支援を継続中	

創業促進支援事業 活用事例～トマト茎葉を使った循環型食器の開発を支援～

創業 廃棄していたトマト茎葉を活用した、堆肥化できる循環型食器の開発

企業名：AgReturn(美瑛町) 業種：製造業 創業：2023年10月



創業のきっかけや課題	支援内容	事業利用による効果
【きっかけ】 <ul style="list-style-type: none"> トマト栽培の過程で出る葉や茎などの残渣の多さに驚くとともに、何かの資源になるのではないかと発想 廃プラ削減につながる植物由来で自然分解する製品を開発し、循環型社会の実現に貢献 【課題】 <ul style="list-style-type: none"> 試作品(金型含む)製造、事業PRツールに係る経費の確保 食器の使用感の確認及び堆肥化についての実証実験の場の確保 	<ul style="list-style-type: none"> 試作品製造外注費やチラシ及びパンフレット、ホームページの制作費用を支援 試作品を地元イベントで使用してもらい、回収した容器を自然分解の実証実験に利用 	<ul style="list-style-type: none"> 地元酪農家協力の下、堆肥プラントの実証実験を行い、自然分解できることを確認 新聞等のメディアで採り上げられた効果もあり、イベント主催者から同商品を受注
対象経費 外注費、試験依頼費、印刷製本費他	支援状況 当センター職員がフォローアップを行い、道の専門家派遣事業を活用し、経営戦略・販売戦略を指導	

中小企業等の定義について

(独)中小企業機関整備機構法第2条第1項(第1号から第4号))

業種	下記のいずれかを満たすこと	
	資本金	従業員
製造業、建設業、運輸業、その他の業種	3億円以下	300人以下
卸売業	1億円以下	100人以下
サービス業	5,000万円以下	100人以下
小売業	5,000万円以下	50人以下

※ゴム製造業、ソフトウェア業、情報処理サービス業、旅館業は別途定義があります。

1 道内に主たる事業所を設けて新規に事業を開始する取組を支援します。

2 道内の地域資源を活用した新商品・新サービスの開発から販路開拓までの事業化実現に向けた一連の取組を支援します。

3 本格開発着手前の事業構想の実現に向けた事前検証・検査・分析等の取組を支援します。

2 地域資源活用型事業化実現事業

地域資源^{※3}を活用した新商品開発・販路開拓に

対象者	助成内容	対象経費
<p>① 道内の中小企業者等^{※1} または ② 農工商連携事業計画認定事業者^{※2} (計画期間内の事業者に限る)</p>	<p>上限 150万円 助成率 1/2 以内</p>	<p>試作費(原材料費、外注費、機械装置等の借料)、デザイン開発費、プログラム開発費、展示会出展・その他関連費用、広報費 等</p>

※1「道内の中小企業者等」とは、次の①または②のいずれかに該当し、道内に主たる事業所を有するものをいいます。

① 独立行政法人中小企業基盤整備機構法第2条第1項(第1号から第5号に限る)に規定する中小企業者。

なお、農林漁業および金融・保険業の業種に属する中小企業者を除く。

② 中小企業団体の組織に関する法律第3条第1項に規定する中小企業団体。

※2「農工商等連携事業計画認定事業者」とは、農工商等連携事業計画について国から認定を受けている事業者(計画期間内の事業者に限る)をいいます。

- ※3【地域資源】
- ① 地域の特産物である農林水産物又は鉱工業品
 - ② 地域の特産物である鉱工業品の生産に係る技術
 - ③ 文化財、自然の風景地、温泉その他の地域の観光資源 をいいます。



地域資源活用型事業化実現事業 活用事例～米菓子商品の販売拡大を支援～

商品開発

有機JAS認証米を使った米菓子の販売拡大

企業名：有限会社澤田米穀店(北斗市) 業種：小売業 創業：1915年(設立)1967年5月



課題	支援内容	事業利用による効果
<p>【きっかけ】 有機加工食品工場の認定を受けたことを契機に、販売拡大に向け、有機JAS認証米使用商品(有機玄米ポン菓子[※])等のパッケージデザインをリニューアル</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 商品コンセプトや味の違いを伝えるパッケージの開発 食品表示法の改正に対応する表示の見直し <p>※ポン菓子 米などの穀物に圧力をかけた後、一気に開放することによって膨らませた駄菓子</p>	<ul style="list-style-type: none"> 有機玄米ポン菓子、乳幼児用ポン菓子のデザイン開発費を支援 「化学調味料不使用」、「うま味調味料不使用」等の表示について、保健所に相談しながら法改正に沿って表示するよう助言 	<ul style="list-style-type: none"> 味の違いをパッケージの色で表示 色彩から味をイメージできるようになり、認知度が向上 法改正に合わせた適切な表示に見直し 店頭及びネットにて販売拡大中
<p>対象経費</p> <p>デザイン開発費</p>	<p>支援状況</p> <p>当センター職員がフォローアップを行い、道の海外向け新商品開発やコンサルタント招へいを支援する事業等を活用し、継続支援中</p>	

3 製品開発チャレンジ支援事業

製品開発に向けた事前検証に

対象者	助成内容	対象経費
<p>道内の中小企業者等^{※1}</p>	<p>上限 50万円 助成率 1/2 以内</p>	<p>試作費(原材料費、外注費)、試験依頼費、共同研究費 等</p>


事前検証

製品開発チャレンジ支援事業 活用事例～未利用副産物を使用した新商品開発を支援～

廃棄されている有機チーズホエイやバターミルクを活用したペット用チーズの開発

企業名：ノースプレインファーム株式会社(興部町) 業種：畜産食料品製造業 創業：1988年12月

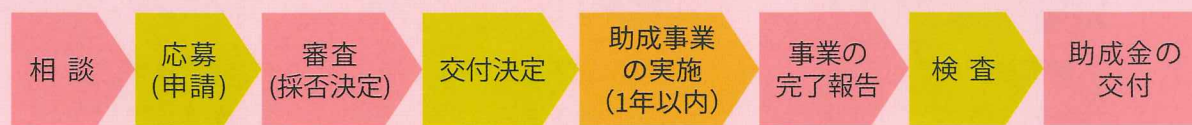


課題	支援内容	事業利用による効果
<ul style="list-style-type: none"> 脂肪、乳糖、塩分、タンパク質等の含有量測定 常温保存性の確認 食感、保存性の確保に最適な水分値の検証 ペットフードに適した栄養成分分析 	<ul style="list-style-type: none"> ペット用チーズ試作に必要な原材料費や成分分析に係る費用を支援 コロナ禍による売上低迷に対する経営相談、自社レストランで提供するメニュー開発等の助言 	<ul style="list-style-type: none"> 脂肪、乳糖、塩分が少なく、一定のタンパク質が含まれ、1年程度の常温保存に耐えられることが実証され、ペット用チーズとして商品化に目途 ホエイやバターミルクには乳を醗酵させる乳酸菌が残っているため、培養乳酸菌を追加する必要がないなどのコスト削減効果を確認 改良と検査を重ね2023年に商品化し、自社ECサイト等で販売中
<p>対象経費</p> <p>原材料費、試験依頼費</p>	<p>支援状況</p> <p>当センター職員及びよろず支援拠点COがフォローアップを行い、道の新商品開発支援事業を活用して新たな商品開発を支援中</p>	

応募方法・留意事項

- 募集期間、対象経費の詳細などにつきましては、当センターのホームページでご確認または相談フォームにてご連絡ください。
- 募集要項・申請様式は、当センターのホームページにて公開しますので、よくお読みの上、応募してください。
- 助成対象経費は、助成金の交付決定日以降に発生し、助成事業の実施期間内に支払いを終えた経費に限ります。
- 同一年度において、助成事業の内容の全部または一部を対象として、国(独立行政法人を含む。)または道の助成金が交付される場合、助成の対象とすることはできません。

助成金交付までの流れ



助成事業の実施期間は、助成金の交付決定日から1年以内です。

北海道中小企業新応援ファンドについて

北海道中小企業新応援ファンドは、
(独)中小企業基盤整備機構、
北海道、札幌市、金融機関が資金を拠出して
組成したファンドです。
ファンドの運用益を活用して、
道内における新たな産業の創出や
事業化を支援します。



[事務局・問い合わせ先]



公益財団法人

北海道中小企業総合支援センター

企業振興部(札幌本部)

〒060-0001 札幌市中央区北1条西2丁目経済センタービル9階

相談フォーム：<https://6ba0e801.form.kintoneapp.com/public/grants-form>

E-mail：jyoseishien@hsc.or.jp



道南支部

〒040-0015 函館市梁川町5番10号 プライム函館EAST 8階
TEL 0138-86-6695

十勝支部

〒080-0013 帯広市西3条南9丁目23番地 帯広商工会議所内
TEL 0155-67-4515

釧根支部

〒085-0847 釧路市大町1丁目1番1号 釧路商工会議所内
TEL 0154-64-5563

道北支部

〒078-8801 旭川市緑が丘東1条3丁目1番6号 旭川リサーチセンター内
TEL 0166-68-2750

日胆支部

〒050-0083 室蘭市東町4丁目28番1号 室蘭テクノセンター内
TEL 0143-47-6410

オホーツク支部

〒090-0023 北見市北3条東1丁目25番地 北見経済センタービル5階
TEL 0157-31-1123

(公財)北海道中小企業総合支援センター ホームページ

URL <https://www.hsc.or.jp/>

